

映画『審判』公開 &
カフカ生誕135周年記念 特別トークショー

現代 × カフカ × 日本

„Jemand mußte Joasef K. verleumdet haben, denn ohne daß er etwas Böses getan hätte, wurde er eines Morgens verhaftet.“

「誰かがヨーゼフ・Kを中傷したに違いない。なにしろ、何も悪いことはしていないのに、ある朝、逮捕されたのだから。」 —川島隆 訳『ポケットマスターピース01 カフカ』（集英社）

これは、数々の不条理文学を世に送り出してきた作家フランツ・カフカの長編『審判』（原題：Der Process）の冒頭の一節です。作品の舞台は、ジョン・ウィリアムズ監督によって現代の東京へと移され、映画化されました。

2018年6月29日(金)

18:30-20:00 (開場 18:00)

上智大学四谷キャンパス
中央図書館

L- 821会議室

講演言語: 日本語

入場無料

上智大学外国語学部教授
映画監督

ジョン・ウィリアムズ



© Carl Vanassche

ドイツ語通訳・翻訳・
エッセイスト
マライ・メントライン

映画『審判』は、6月30日(土)から
渋谷ユーロスペースで公開。

カフカ生誕135周年と映画公開を記念して、特別トークショーを開催します。登壇者は**ジョン・ウィリアムズ監督**、**マライ・メントライン氏**、**川島隆准教授**です。カフカの人生や世界観から現代日本が抱える数々の問題、それに馴れてしまった日本人への問いかけなど、熱く語って頂きます。



京都大学
文学部准教授
川島隆



©100 meter films
映画『審判』公式ホームページ：
<http://www.shinpan-film.com/>



申し込み：(公財)日独協会 Email: event@jgd.or.jp Tel: 03-5368-2258
※ 申込方法: オンラインフォーム(QRコード)
※ 先着順での受付となります。定員に達し次第、期間内でも受付終了となります。

上智大学ヨーロッパ研究所
〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1 上智大学中央図書館7階 721 B
Tel: 03-3238-3902 E-mail: i-europe@sophia.ac.jp



KAFKA